

eライブラリアドバンス

2022年6月号 Vol.209



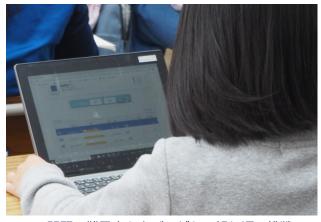
岐阜県坂祝町立 坂祝小学校

宿題に、授業に、eライブラリを日常使い

~学習履歴を蓄積、指導の振り返りや授業づくりへ~

一人一台タブレットの導入をきっかけに、2年生以上で、これまで利用していた冊子の計算ドリルをeライブラリのドリルに置き換えた坂祝小学校。宿題や授業で活用するねらいと今後の展望を伺いました。

教科書とeライブラリで、反復演習



▲ 問題の難易度を上げながら、繰り返し挑戦

算数 4年:小数と整数のかけ算・わり算

単元のたしかめ問題に取り組む時間に、eライブラリを利用しました。まず全体で、単元のポイントを確認した後、教科書のたしかめ問題に取り組みます。

問題を解くペースは様々で、早く終えた児童から順にタブレットを取り出し、eライブラリのドリルを始めます。

ルールを共有し、個々のペースを尊重



▲ わからない問題を、友達と一緒に考えます

学校・家庭を通してタブレットに親しみ、また、 授業で e ライブラリに取り組むときのルールが共有 されているという児童たちは、操作もスムーズで、 本時の単元から自分で目当ての教材を開き、解き進 めることができます。

4年担任の早川先生は、児童による進度差を考慮し、授業では「学習指示」を使わないそうです。 じっくり教科書に取り組む児童、eライブラリで先 へと進む児童、個々のペースを尊重しています。

インタビュー e ライブラリは取り入れやすく利点が多い

e ライブラリは、**これまでの指導スタイルを大きく変えることなく取り入れられる**と同時に、従来の問題選びやプリント印刷の時間が短縮できます。答えが選択式ですので、児童には、ノートに思考の過程を書き残すようにと伝えており、中でも苦手意識を持つ児童には、ノートに書いた結果が選択肢にあるかをヒントにできる点が良いです。

授業では各自のペースで、宿題では「学習指示」でeライブラリのドリルを利用しています。従来の計算ドリルやプリントと異なり、〇×判定の結果と解答解説を自分ですぐに確かめられるところが、児童の意欲継続に役立っています。





計算ドリルをeライブラリに置き換え、宿題に



▲ 月毎の学習状況の変化を見るのも楽しみの一つ

坂祝小学校では、2年生以上は冊子の計算ドリルを e ライブラリに置き換えて利用しています。一教材あ たりの問題数がコンパクトで、小刻みに達成感を得ら れるため、複数教材の宿題を、最後までやり切る児童 が増えました。

早川先生は、正答率と学習時間を主にチェックしているそうで、見込みより時間がかかったり、正答率が低かったりした教材を、**授業で取り上げたり、別日に朝学習や再度宿題に出したり**しているそうです。

eライブラリ活用のねらい

- 計算ドリルをeライブラリに置き換え、取り組みやすくなったり、効率化されたりしたことでできた時間が、ほかの自主学習や発展的な学習につながる
- 得意な児童にも、苦手な児童にも、主体的な姿勢を伸ばすきっかけになる
- 学習履歴を蓄積・分析し、次の指導に生かす

インタビュー 教員が客観的に指導を振り返るペースメーカー

e ライブラリは、児童の学習履歴のほか、教員が「学習指示」で課題を 出した記録も残ります。そのため、**教員自身が「宿題が少なかったところ」「もっと反復した方がよいところ」などを客観的に振り返り、指導法を練り直すきっかけに**なります。

さらに、学習履歴、学習指示の記録をもとに、各児童の得意・苦手・これからつけたい力などを、**データとして示し、保護者と共有**できます。



e ライブラリという共通のツールを学校全体で活用することで、教員間の指導内容の差を解消し、全ての児童が「学ぶことが楽しい!」と思う場面を増やしていきたいと考えています。

インタビュー 学習履歴を生かした授業づくり、個別の指導・支援に



タブレットを宿題や自主学習に役立てるため、積極的に家庭への持ち帰り を実施しています。同時に、全てをタブレットで行うのではなく、**学年によ る発達段階、学習効果を踏まえ、デジタルとアナログを併用**しています。

また、あらかじめ保護者に対し「家庭学習の充実に向け取り組む」「起こり得る学級・学年閉鎖時に学びを止めない」と目的を示しておくことで、タブレットの活用に理解を得ています。

e ライブラリは今後2年、3年、と活用を継続していき、蓄積されていく学習履歴を分析していきます。それをもとに教員が授業づくりをする、

各児童にどのような指導・支援をすべきか決める、という動きは今、教育現場で欠かせないものとなっています。

※本紙の情報は取材当時(2021年度)のものです。

